

地域版

SASEBO 99 Talk  
M Cafe

# 令和7年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和7年6月6日(金)14時から
場所	世知原地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	<ul style="list-style-type: none"><li>・市長の世知原地区に対する考えについて</li><li>・地域交通について</li><li>・その他</li></ul>
出席者	地域参加者8名、市議会議員1名、市長ほか関係者3名 合計12名

佐世保市 市民生活部  
コミュニティ・協働推進課

# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:市長の世知原地区に対する考えについて

## 地域参加者

- 市長の今後の考え方、99の政策も含めて世知原に対する考えを伺いたい。

## 市長

- おじ嫁が世知原出身で、世知原は幼い頃から非常に思い入れが強く、大変思いのある町。世知原というまちは山間の自然に囲まれた、農業とお茶と素晴らしい環境を持つ町だと思っている。「佐世保」と言われたら海のイメージが強いと思うが、そういう中でこの山の部分においては、世知原地区は非常に佐世保にとって貴重で大変大事な場所。そうした中で、この地区をどう発展させたらいいかを今一生懸命考えているところ。北部地区特有の素晴らしさを、今後どうやって活かしていくのかは市長を目指すにあたっての課題だと思い、市長選挙のときに99の政策に加え

て、北部地区については特別にアジェンダを掲げた。その中で世知原地区においては、板山トンネル開通後どう発展を図っていくか、「世知原茶×〇〇〇」コラボでの名産物を活かしたまちづくり、世知原少年自然の家の存続についての3つの課題を挙げた。まだ答えは出ていないが、世知原という素晴らしいまちがあるということなので、そうしたこともこの会で話しながら進めていきたい。

就任から2年経過し、おかげさまで現段階で91の政策について着手又は予算化している。IRを前提にした公約は無理かと思うが、あと2年で完遂できるよう努力していきたい。

世知原については、冒頭の個人的な思いも含めて頑張っていきたいと思っているので、皆様方にはどんどんいろいろなアイデアや施策についてもお寄せいただければ幸いである。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域交通について

## 地域参加者

- 地域交通については佐世保市全体の問題だが、世知原としても大きな問題になっている。知見寺経由のバスは何とか廃止にならずに済んだが、菰田-世知原線、松浦-世知原線が廃止となった。今回はバスを乗り継ぎ何とか松浦まで繋ぐことができた。ただし、今後はすべてのバスがなくなる可能性もあるかもしれない。現状や今後の動きなどについてお聞きしたい。
- 吉井から世知原と、世知原から佐世保という知見寺経由しかバス路線がない。冬場に雪が降った場合、知見寺経由だけが通れないという状況であればまだいいが、自動的に吉井-世知原間も通れなくなる。雪が解けなければ2日、3日バスが世知原全部を一切通らなくなる。できれば冬場、吉井から往復できる形があれば。そういった季節的なことも考えていただきたい。

## 地域未来共創部長

- 松浦線の廃止時にあたっては、前議長を含めてたくさんご意見をいただいて、なんとかデマンドタクシーの時間変更、松浦側のコミュニティバスの融通、学校の開始時間の変更、吉井経由のバスの時間の変更等いろいろ調整をさせていただき、皆様のご協力のおかげでなんとか生徒が通学できている状況。  
会長からもあったように、このバスの問題は佐世保全体の問題というより、もう全国の問題になりつつある今後の大きな課題。  
今の状況をポイントだけお話しさせていただくと、まず平成14年の道路運送法の改正がひとつ大きな転換点であり、特定の事業者が地域を独占して運行できる代わりに勝手に撤退できない仕組みから、参入も撤退も自由にできるように規制が撤廃された。これが、今こういう状況が起きている根本原因のひとつと考えていただいていると思う。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域交通について

## 地域未来共創部長

この規制が解除された後、自由参入で多くバスが通る区域とそうではない空白地域ができるようになった。松浦線の廃止もまさしく空白ができてしまった部分。赤字補填をして路線を残す方法もあるが、今回運転士がいないということでお金で解決することが非常に難しかった。今後、まさしくこういう問題が大きくなってくだろうと考えている。

今の状況で行くと、10年後に運転士の数が半分以下になると推計されている。そのため、路線の維持が非常に難しくなることが予測されているので、昨年作った公共交通計画の中でしようとしていることを、簡単に2点だけご紹介したい。

現在、ほとんどの路線で北から南に一貫して繋がっており、真ん中のところが重複してしまっている。この真ん中の部分に過剰に路線があつまってきているという問題点と、路線一本一本が長いために運転士の長時間勤務につながっているという問題点がある。非常に効率が悪い状況。この大野から早岐の区間の乗車率が低いので、大野

と早岐で一旦区切ってその間の路線を少し減らし、余剰になった運転士をできるだけ周辺の方にまわして、今回のような減便が起きないような形にしていくという工夫をしていくのがひとつの方法。

もうひとつが、空白となったところをどうやって埋めていくかという話で、公共ライドシェアという仕組みがある。これは一定要件を満たせば、1種免許を持った人が自家用車を運転してお金をもらっていいという道路運送法上の制度。例えば地域団体が運行主体となって、地域の中から運転士を選んでいただいて、区域内はどこでも行っていいという、この仕組みが作れるかどうか。政府も私たちも作っていこうと考えている。

路線を残すのもひとつの方法としてあるが、バス停まで遠かったり、1日の運行便数が少ないという問題があるので、できれば皆さんが行きたい時間に行きたいところに行けるような形、住民の方々の負担をあまりないようにしてできる方法がないかということも、今考えようとしている。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域交通について

## 地域未来共創部長

料金を貰ったり、予約をいただいたりするお仕事が出てくるので、できるだけ地域の負担を少なくしてできるように、交通事業者が協力していいという仕組みができています。これを、どうしたら良い形ができるかを今年度黒島地区の方で検証していきたい。

もうひとつの事業として、今申し上げたような状況を市民の皆さんにお伝えすることを考えています。各地域の方、地域の方々と交通を考えていただいている方にお呼びかけをして、黒島の状況を見に行ったり、それぞれの地域でどのような形がいいのかを考えるような機会を今年度設けていきたいと考えているので、ぜひ参加していただきたい。

申し上げたとおり、構造的に穴が開くような状況になっていて、今申し上げたような形で埋めていきたいと考えているが、地域の皆さんのご協力が必要になってくると思うので、ぜひこの事業にご参画いただければと考えています。

- (降雪時のバスの運行について)ご指摘いただいた件については、完全に空白地帯になるということで非常に問題が大きいと思う。西肥バスの方とちょっと話をさせていただきたい。

## 市長

- 私の施策の中で、最も重要なひとつがこの地域交通。  
地域未来共創部長から説明申し上げたとおり、人口減少によるバスの利用者の減少と、運転士の数の急激な減少の2点をもって、今減便というものが進められている。その背景には、法改正など規制緩和があってこのようなことが進んでいるという認識の中、急ぎこの地域公共交通計画を策定して、できるだけ市民の皆様方の利便性を損なわないように、これからの交通の充実を図っていきたいと考えている。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

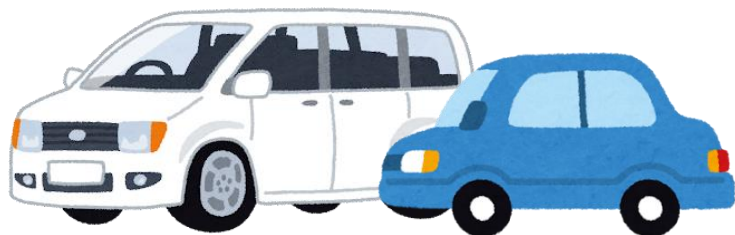
テーマ:地域交通について

## 地域参加者

- 公共ライドシェアは、確保・組み立ての仕方など、運行管理者の問題がある。知見寺がなくなる前提ではないが、そこを考えながら公共ライドシェアをある程度構築していくことを考えていかなければならないのではないかと。  
せっかくさせぼバスがあるので、そこが核となってサポートできるようなシステムができないかと思っている。させぼバスのコミュニティバスを拡充するとか、最終的な公共ライドシェアの前に入れないか。

## 地域未来共創部長

- 非常に素晴らしい視点だと思う。市が100%出資している会社なので、そういう民間でできないようなところに手を入れていくのにふさわしい主体だとは思う。  
公共ライドシェアの運行管理に関しても、どの地区でも同じ問題が出てくると思う。そこをしっかりと支える主体が必要だと考え、内部的には具体的な検討をすでに進めている。  
させぼバスの役割を踏まえた上で、どのような手段を用いることができるかというのは、マンパワーの問題もあるので、そこを加味した上で検討を進めていきたいと思う。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

## テーマ:地域交通について

### 市長

- 2019年に西肥バスと市営バスが統合し、民営化された。減便が行われている中でさせぼバスの意義は極めて大きいと考えている。させぼバスの皆様方に大きな役割を担っていただきながら、しっかりと連携を取って、市民の利便性を確保していきたいと部長とも常々話をしている。海外では、ウーバー等スマホ1本でタクシーが来るというようなものが、完全に社会に根付いている。要請に応じた形で交通が動くというものが、これからの日本の目指すべき方向性だと思うが、公共ライドシェアを導入するにしても、運転士不足の問題は変わらないのではないかと。ひとつの方策の例だが、外国人運転士の導入を図る必要があるのでは。国の方でも技能実習生などの活用で、運転士としての活用が言われていることを念頭に置きながら、外国人の活用も進めて行ければ。一方で、運転士不足の背景には処遇改善が必要かと思う。国の方とも話をしており、いろいろな形の中で応援をしてもらうように今進めているところ。

### 地域参加者

- 丸亀市に行ったときに、住宅街をぐるぐる回る小型のバスがたくさん走っていた。利用者がいない時間帯は全く乗れず、合理的だった。ああいう制度を利用できないか。

### 地域未来共創部長

- 今おっしゃった丸亀市の小さなバスが、まさしく公共ライドシェアの発想。おそらく丸亀市はある時間帯は定時定路線、ある時間帯は全く動かないという感じで、バス路線がないところを回されているんだと思う。公共ライドシェアはどちらかというともデマンドタクシーに近いものなので、基本的には空で走ることはない。有効に資源を使うという意味では、この公共ライドシェアの中にさらに有効に使える方法があるので、今年度ぜひ実証でやっていきたいし、見ていただきたい。一緒に作っていければと思う。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域交通について

## 市長

- 丸亀市のようにいろいろな取り組みをしている自治体もあるので、良い部分があれば参考にしてどんどん取り入れていければと思う。

## 地域参加者

- 菰田線の廃止についての松浦高校との打ち合わせのときに、自治協には全く連絡せずに直接学校関係などに連絡して会議をされようとしたことがあった。地域の一環ということで自治協議会が入る必要はなかったのか、疑問に思っている。今後はどういう形でやっていくのか。自治協議会や町内連合会と、一緒にやっていく形でいいのか。

## 地域未来共創部長

- 報告は受けていて、非常に申し訳なかったと思う。通常2、3年かかってデマンドタクシーを導入するところを、今回急に14路線の廃止が出たことで、単年度で5ヶ所導入する対応を取らざるを得ない状況だった。内部の話で恐縮だが、人員が限られている中で、急いでやらないといけない部分があり、利用者の大部分である松浦高校の生徒さんのご意見などを先に調整したいという思いが多分働いたのだと思う。会長がおっしゃる形をとっていかうと思っている。

## 市民生活部長

- 地区自治協議会は市民生活部も関係しているので、情報共有など協力していきたい。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

## テーマ:地域交通について

### 市長

- 市民の皆様方の公共の足を確保することは、市政の重要な課題だということを改めて認識しながら、地域の皆様方と一緒に進めて参りたい。会長がおっしゃったが、公共交通に限らず、いろいろな事業を行う際には、自治協議会の皆様方をはじめ、市民の皆様方とのコンセンサスを得ることが重要だと思っているので、市民の皆様方との連携等、ご理解をいただきながら進めていきたい。

### 地域参加者

- 廃線となった区間のバス停に、黒いゴミ袋を被せたままになっている。西肥バスと話す機会があれば、早めに撤去するように言っただけないか。見た目が非常に悪い。

### 地域未来共創部長

- 同じご意見を佐世保市各地から承っている。西肥バスの方にも申し上げているし、西肥バスの方にも同様の話があって、順次対応を図っている。まだこちらまでできていないかと思うが、急いでやるように再度申し上げておきたい。

### 市長

- 早く撤去をするように部の方からも進言したいと思う。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域交通について

## 地域参加者

- 旧町の頃に作られた木造の待合所が数ヶ所ある。対応しないといけないものがありそうで、危険であれば撤去しないといけない。調査いただいて、その処理を検討してもらえたら。

## 地域未来共創部長

- バス停に関してはベンチなども結構あったりするが、西肥だったり自治協議会だったりと所有者が異なる。個別に確認をさせていただいて、適切な対応を取って参りたい。

## 地域参加者

- ベンチの件で、福推協から寄贈したものがあり、町民グラウンドの方に移設させてもらう話をしている。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 地域参加者

- 市中心部と世知原で、公営住宅の家賃は一緒なのか。

## 市長

- 家族要件の変更により家賃が上がることはあるかと思うが、基本的に同じ条件であれば、古いものについて高くなるということはないと認識している。  
基本的に、法律に基づいて公営住宅の家賃等も設定されるので、固定資産税の評価額により変動するものではあろうが、北部地域は中心地域に比べれば家賃が安価になりやすい傾向にはあるのではないかと思う。

## 地域参加者

- 家賃増額のお知らせが非常に遅い。増額後の家賃が佐々町の新築アパートより高いということで、地区の役員をされていた方が総会後に引越されたため、役員会等を開いて役員選をしたことがあった。増額の直接の原因はお子さんが扶養から外れたことが一番だと思うが、条件的なものはあるとしても、古い建物の家賃だけが上がるのはおかしい気がする。その辺を調べていただければ。
- 公営住宅2棟40世帯のうち、23世帯しか住んでいない。片方の棟に収まるくらいの世帯数になっている。また、栗迎の公民館が築40年以上経過している。そこで公営住宅の空き部屋の利活用として、1階部分に公民館の機能や防災センターの機能を与え、上を住宅にできないか。公営住宅の空家について、市長はどう考えていらっしゃるか。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 市長

- 佐世保市も、決して周辺地域などと比べても家賃が安いとは言えず、人口を外に逃がしている。このことは非常に大きな課題だと思っているので、公営住宅の対応も含めて、これから検討していきたい。

利用されない公営住宅の利活用については、いろいろな縛りはあると聞いているが、可能な限り緩和や、利便性が上がるような使い方ができないか、工夫をしていきたいとも思う。

世知原を含めて、若い皆さんに対しての住居対策を進めて行く必要がある。住環境の整備は、今取り組んでいる子育て支援のひとつであると思う。家賃のハードルを下げてあげないと、若い皆さん方の流入は難しいと思うので、総合的にこれから検討させていただきたい。

## 地域参加者

- 家賃も高いが、若者住宅の共益費が5,000円近くて、高い。鹿町江迎は2,000円。交通の便のリスクがあるんだったら、思い切って他のところより安くはできないのか。自然の家のことも含めて、思い切った手立てを何かお願いしたい。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 市長

- 共益費の話は存じ上げなかった。戻って確認したい。

人口減少は一朝一夕ではいけない難しい問題だが、そうした中でも何か思い切った施策を打っていかねば何も変わらないと思う。私案だが、特区を作ってモデルケースを作ることも、ひとつあっていいのではないかなと思う。

公営住宅のあり方、住居のあり方などの住む環境と子育て支援や活躍の場、産業の活発化など、すべてが相まって住みやすいまちができていくと思うので、特に住居の面については、佐世保は非常にハンディキャップがあることを改めて認識しつつ、住宅政策を含めた住環境の整備にさらに力を入れていきたい。

## 地域参加者

- 佐世保市は、佐々町、平戸市・松浦市と合併できないか。一緒になることによって交通の問題に限らず、いろんな面で若干違ってくるのではないかなと思う。

## 市長

- 医療関係やゴミの問題等、地域が連携をしなければならぬようなことがたくさんある。今西九州させば広域都市圏というものを作って、長崎県の北部エリアと、佐賀県の伊万里、有田の一市一町を加えた12市町で連携して、様々な問題に取り組んでいるところ。

観光などについても、ハウステンボスに来たお客さんに、佐世保だけでなく平戸や松浦も回っていただくようにする施策にも取り組んでいる。また、ハウステンボスに来れば、世知原はもちろん佐世保やいろいろな周辺地域の観光情報を入手できるように、情報共有できるように連携をしていきたい。

合併如何にかかわらず、連携については深めていきたいと考えている。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 地域参加者

- 板山トンネルができて急須のモニュメントが上に残っている件については、どちらが窓口になるのかも話してもらって、そことの打ち合わせということを具体的にしていかないと先に進んでいかないと思う。



## 市長

- 急須のモニュメントについてはどうした方がいいか、地域の皆さん方とも一度話を戻ってすぐご連絡させていただく。



# 令和7年度世知原地区 意見交換内容(要旨)

